

灯 (あかり)

『汗を流して、未来を拓く』

令和5年11月30日(木) 第20号

文責：校長 森下 隆司

餅つき会 ～半年間の取り組みの集大成として～

急な気温低下と強風による影響を心配しましたが、予定通り11月24日に「餅つき会」を実施しました。他地域ではインフルエンザの流行の話題も聞かれますが、玉之浦小中学校では体調不良者もおらず、予定通りの実施ができて安心しました。

5、6年生が5月下旬に種粃を蒔き、稲苗を育てました。この種粃は、平成小学校で田植えをしていた頃から代々引き継いできたものです。米作りは玉之浦小学校の半年間の取組だけではなく、玉之浦小中学校を巣立っていった先輩方の思いもこもった活動です。6月の田植え、10月の稲刈り・脱穀に取り組み、今年も収穫したお米で餅つきを行うことができました。この半年間は、保護者の方々のご協力だけでなく、角田隆章さんをはじめとした地域の方々にも大変お世話になりました。学校での児童生徒の成長につながる日々の指導・支援だけでなく、このような活動を通して地域の力を児童生徒の人格形成に注いでいただいていることに感謝しています。「活動あって、学びなし」とならないよう、今後もこの体験活動での学びを生かしていけるよう、児童生徒の指導・支援の充実を図っていきます。

最後になりますが、育苗から餅つきまでたくさんの保護者及び地域の方々にお力添えをいただきました。紙面ではありますが、お礼をお伝えいたします。ご協力ありがとうございました。



たまんなっ子じまん — 長崎新聞「ジュニア歌壇」 —

玉之浦小中学校で取り組んでいる「俳句作り」。その発表の機会の一つでもある「長崎新聞『ジュニア歌壇』」へ、新たに3名の作品が掲載されました。子どもたちの作品を見るたびに、季節の移ろいを感じる、素敵な作品ばかりです。

「隙間風目覚まし時計の代わりかな」 埜 優斗 「夕焼けに芒が紅く染まりけり」 野崎匠也
 「花火大会はしゃぐ大人子どもがえり」 出口清悟 「春風に揺られて笑う花と子よ」 小林 紬